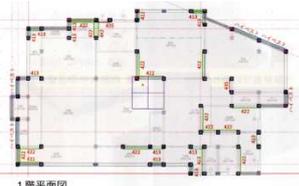


普及事業の成果報告書

名古屋工業大学高度防災工学研究センター長 井戸田 秀樹

| <p>1. 普及事業の名称</p> | <p>能登半島地域の早期生活再建に向けた被災住宅の復旧+改修技術の普及</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|--|------|------|------|-----|----|---|------|------|---|------|------|----|---|------|------|---|------|------|
| <p>2. 事業の概要 9/24 / 石川県鳳珠郡穴水町 11/27 / 石川県鳳珠郡穴水町 2/1 / 名古屋工業大学(愛知県名古屋市) Nitech Hall</p> | <p>1. 石川県鳳珠郡穴水町のU邸を調査。現地調査の後、改修設計案を策定。被災度判定は中規模半壊。被災前の耐震診断評点は0.24、被災後の評点は0.22である(被災度:小破と軽微)。公費解体申込み済。</p>  <p>対象とした築100年の伝統構法木造住宅。調査メンバーは井戸田秀樹(名古屋工業大学、花井勉(高度防災工学研究センター客員教授)、成田完二(木造耐震ネットワーク知多)、北川啓介(名古屋工業大学)。</p> <p>2. 耐震改修設計案を家主に説明。低コスト工法を中心に構法を選択し、改修後の1階の評点を0.71(積雪時)、0.93(無積雪時)で提案。見積は508万円。ちなみに、県内の工務店の見積は4,100万円だった。</p>   <table border="1" data-bbox="1141 1093 1407 1258"> <thead> <tr> <th></th> <th>方向</th> <th>無積雪時</th> <th>積雪時</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">2階</td> <td>X</td> <td>0.77</td> <td>0.72</td> </tr> <tr> <td>Y</td> <td>1.00</td> <td>0.97</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">1階</td> <td>X</td> <td>0.96</td> <td>0.73</td> </tr> <tr> <td>Y</td> <td>0.93</td> <td>0.71</td> </tr> </tbody> </table> <p>改修案の住宅所有者への説明の様子と、改修プラン、改修後評点。石川県では、段階的改修(目標評点0.7)でも満額200万円の改修費補助が助成される。改修プランの説明は井戸田と花井が担当。</p> <p>3. 被災木造住宅の復旧・耐震化支援シンポジウム「巨大地震後も大好きな故郷に住み続けたい」を開催し、安価で合理的な被災住宅の復旧・耐震化の技術について議論するとともに、こうした技術による復旧+改修の必要性を情報発信した。実施内容は次ページのチラシ参照。 参加者数は、対面参加35名、YouTubeLIVE 配信視聴者35名。</p> <p>▶ https://www.youtube.com/live/GXIZ2o3dVDI</p>   <p>北川啓介氏の基調講演</p> <p>パネルディスカッション</p> | | 方向 | 無積雪時 | 積雪時 | 2階 | X | 0.77 | 0.72 | Y | 1.00 | 0.97 | 1階 | X | 0.96 | 0.73 | Y | 0.93 | 0.71 |
| | 方向 | 無積雪時 | 積雪時 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2階 | X | 0.77 | 0.72 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | Y | 1.00 | 0.97 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1階 | X | 0.96 | 0.73 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | Y | 0.93 | 0.71 | | | | | | | | | | | | | | | | |

2/2 / 名古屋工業大学 (愛知県名古屋市) EPSON STUDIO

4. 建築士・工務店向けワークショップ「被災住宅の復旧と耐震改修技術の普及に向けて」を開催し、住宅の復旧と改修に関する技術的な情報交換を行った。参加者 12 名。



ワークショップの様子



令和7年 2月1日(土) 13:00~17:00
名古屋工業大学 NITech Hall (名古屋市昭和区御厨所町) 定員200名

被災木造住宅の復旧・耐震化支援シンポジウム

元凶に発生した能登半島地震では木造住宅を中心に壊れたる大きな被害が発生しました。建物の倒壊は多くの人命と財産を奪うだけでなく、避難生活や生活再建の妨げれば、地域や暮らしの再建にも大きな支障を及ぼすこととなります。本シンポジウムでは、被災した木造住宅の早期復旧と生活支援に向けて継続してきた取り組みを紹介し、今後想定される南海トラフ巨大地震に最大限備えるための最新情報の共有を目的とします。

■ 基調講演
インスタントハウス開発秘話と被災地支援活動報告 北川 啓介
■ パネルディスカッション
早期生活再建に向けた被災木造住宅の復旧+補強
(株)えびす建築研究所代表取締役 花井 勉
能登復興建築人会議 林 正人
たてもの修復支援ネットワーク 代表 長谷川 真一
エコワークス(株)熊本オフィス 常木 友信
能登町夜後復興推進課 下谷内智次、朝川 千香
能登半島被災住宅の所有者のみなさま、ほか

コーディネーター 名古屋工業大学高度防災工学研究センター長 井戸田秀典

2月2日(日) 9:30~12:30 建築士・工務店向けワークショップ「被災住宅の復旧と耐震改修技術の普及に向けて」※名工大EPSON Studio ワークショップは事前申込不要 自由参加 ※date@nit-tech.ac.jp

シンポジウム、ワークショップのチラシ

3. 事業の成果・効果

合理的で低コストな被災住宅の復旧と耐震改修技術は社会的にも強く求められており、多くのメディアで取り上げられた。今回の取り組みがきっかけとなって、復旧技術を習得した建築士が増え、大地震時の被災住宅支援に貢献できる災害に強いまちづくりに繋がることを期待する。



日経アーキテクチャ 2025-1-9



朝日新聞 DIGITAL



石川 NEWS WEB

*これらの事業はすべて公益財団法人建築技術教育普及センターの令和6年度助成を受けて実施しました。